令和６年１２月定例会

定例会報告

令和６年 12 月定例会が 11 月 28 日から 12 月 17 日まで（20 日間）開催され、審査の結果、議案 19 件すべてを可決・承認しました。請願１件は不採択となりました。また、諮問１件と選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙も行われました。

市長提出議案	19 件
請願	１件
諮問	１件

補正予算

▶今号では、この中から「２議案」をピックアップ！

PICK UP 1

議案第 106 号　令和６年度能美市一般会計補正予算（第６号）

能美根上駅周辺活性化整備事業　補正額　2,112 万円

能美根上駅周辺の賑わい創出や本市の情報発信、鉄道利用の促進による交流人口の拡大を図っていくために、昨年の12月に取得した駅務室を能美根上駅利用促進施設として改修するための実施設計費です。

能美根上駅駅務室

質疑応答

Q　駅務室の改修を行いカフェスペースを整備するとのことだが、どのような機能を持たせる予定なのか

A　カフェを使用しない人でも自由に利用できるフリースペースや指定管理者の業務内容に見合った厨房、利用者に対しての情報提供という３つの機能を持たせる予定である。

議員間討議

論点

実施設計に、施設の安全面と利便性をも考慮した内容を盛り込むべきではないか。

↓

出た意見

能美根上駅利用促進協議会での意見を踏まえ、グランドデザインやコンセプトを明確にするべき。

課題はあるが、様々な意見を取り入れていくべきである。など

↓

合意形成

施設の安全面と利便性に配慮しつつ、改札口の位置を鑑み、動線も考慮した実施設計が求められる。また、駅周辺の飲食店等と連携し、賑わい創出の仕組みを考えるべき。

創業支援事業　補正額　550 万円

市の産業の振興及び活性化を図ることを目的として、市内で創業者に対して補助金を交付する事業である。今年度の創業希望者の申請見込件数の増加に伴い、補正を行うものです。

補助額:対象経費の **1/2**　上限額 **50 万円**

※事業内容によって上限額の加算あり

質疑応答

Q　今年度申請のあった創業者の出身や年代などの傾向を問う

A　ほとんどの創業者が能美市在住の方で市外の方は１～２名であり、年代については20代が1名、30代が６名、40代が４名となっている。

Q　申請者が創業した際には市としてPR等は行っているのか

A　創業者へのPRの支援は行っていないが、創業して間もない事業者を対象にフォローアップセミナー等のサポートを実施している。

議員間討議

論点

①生活環境の充実や観光交流人口の増加、近隣自治体との差別化のため補助金の額を2割アップすべきではないか。

②伴走型支援などの対策を講じていくべきではないか。

↓

出た意見

現時点では議会として補助金額の上げ幅を提示すべきではない。

起業後のフォローを市の強みとし、伴走支援によるサポートを充実すべき。など

↓

合意形成

補助金の限度額については次年度の予算において議論するべき。また、サポート体制の充実について課題を明確にし、市民の声を聞いたうえで次のプランの検討をすべきである。

PICK UP 2

議案第 113 号　能美市体育施設の指定管理者の指定について

寺井体育館

来年４月から根上地区と寺井地区の体育施設の管理を市直営から能美市公益財団法人ふるさと振興公社への指定管理に変更します。

Q　なぜこの時期に指定管理へと移行するのか

A　ふるさと振興公社は自主事業として健康づくり教室などを実施しており、市の体育施設を活用して事業を拡充させていくため。また、学校部活動の地域移行は体育施設の利用調整も重要であり、移行をスムーズに行うためにも、部活動指導者の派遣等を請け負っているふるさと振興公社への指定管理が望ましい。

※補正額の１万円未満は切り捨てて表示